

# 個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	林野高等学校		所在地	美作市三倉田58-1	
敷地面積	30,329.25 m <sup>2</sup>		棟数	83 棟 (計画記載対象 13 棟)	
延床面積	17,681.74 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
<b>【想定される自然災害】</b>					
予想震度 5弱		津波 —		浸水 —	
建築規制	非線引き都市計画区域、第一種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)	
	187,049 kWh	88 m <sup>3</sup>	2,049 m <sup>3</sup>	3,585 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 美作市指定緊急避難場所(地震、土砂災害)				

## 1 施設内建物の概況

名 称	特別教室棟(100棟)30-2	社会科教室棟(100-2棟)30-3	特別教室棟(97棟)30-1
築年(西暦)	1987 年	2005 年	1986 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄筋コンクリート造 4 階
建築面積	206.48 m <sup>2</sup>	207.77 m <sup>2</sup>	340.13 m <sup>2</sup>
延床面積	619.43 m <sup>2</sup>	207.77 m <sup>2</sup>	1,106.74 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	化学教室 物理教室 美術教室	地歴公民教室	生物教室 理科総合教室 書道教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	外壁	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	コモンホール(98棟)31	体育館(105棟)33	格技場(42棟)12
築年(西暦)	1986年	1990年	1963年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	165.22 m <sup>2</sup>	1,353.90 m <sup>2</sup>	917.10 m <sup>2</sup>
延床面積	228.06 m <sup>2</sup>	1,628.32 m <sup>2</sup>	917.10 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	コモンホール	体育館	武道場
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	教室棟(47棟)2-1	普通教室棟(66棟)2-2	普通教室棟(86棟)28-1
築年(西暦)	1965年	1974年	1984年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	217.43 m <sup>2</sup>	214.29 m <sup>2</sup>	242.50 m <sup>2</sup>
延床面積	434.85 m <sup>2</sup>	214.29 m <sup>2</sup>	727.50 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)			消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	不適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(95棟)28-2	本館(56棟)1-1,2,3	食堂及び生徒部室棟(58棟)14-1,2
築年(西暦)	1986年	1969年	1971年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	124.81 m <sup>2</sup>	689.40 m <sup>2</sup>	120.28 m <sup>2</sup>
延床面積	374.45 m <sup>2</sup>	2,724.89 m <sup>2</sup>	241.05 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室	調理教室 職員室 図書室	購買部室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	給排水設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	視聴覚教室棟(81棟)26	
築年(西暦)	1978年	
構造	鉄筋コンクリート造 2階	
建築面積	127.38 m <sup>2</sup>	
延床面積	276.30 m <sup>2</sup>	
主要な用途 (室名等)	視聴覚教室 礼法室	
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	中	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適
	中性化 ※3	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(100棟) 30-2	予防保全を図る。
社会科教室棟(100-2 棟)30-3	予防保全を図る。
特別教室棟(97棟)30- 1	予防保全を図る。
コモンホール(98棟)31	予防保全を図る。
体育館(105棟)33	予防保全を図る。
格技場(42棟)12	予防保全を図る。
教室棟(47棟)2-1	予防保全を図る(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する)。
普通教室棟(66棟)2-2	予防保全を図る(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する)。
普通教室棟(86棟)28- 1	予防保全を図る。
普通教室棟(95棟)28- 2	予防保全を図る。
本館(56棟)1-1,2,3	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
食堂及び生徒部室棟 (58棟)14-1,2	予防保全を図る。
視聴覚教室棟(81棟) 26	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修  
内部の改修を行う。  
(56棟)2022年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟 (100棟)30-2	予防保全			予防保全を図る。							
社会科教室棟 (100-2棟)30-3	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室棟(97棟)30-1	予防保全			予防保全を図る。							
コモンホール (98棟)31	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(105棟)33	予防保全			予防保全を図る。							
格技場(42棟)12	予防保全			予防保全を図る。							
教室棟(47棟)2-1	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(66棟)2-2	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(86棟)28-1	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(95棟)28-2	予防保全			予防保全を図る。							
本館(56棟)1-1,2,3	設備等の定期更新			屋上防水							
	長寿命化改修			設計・施工 3							
食堂及び生徒部室棟(58棟)14-1,2	予防保全			予防保全を図る。							
視聴覚教室棟(81棟)26	予防保全			予防保全を図る。							

### 4. 概算費用

総額 3億円(長寿命化改修等)

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R7.3	本館(56棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更